

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

－ 川崎市の児童生徒の学習・生活の状況 －

平成 27 年 4 月 21 日（火）に小学校 6 年生、中学校 3 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の川崎市の調査結果がまとまりましたので、本市の児童生徒の学習・生活状況の概要を示します。申すまでもなく、この調査により測定できる学力は特定の一部であり、学校における教育活動の成果の一側面にすぎません。したがって、調査結果は、全国の状況を参考にしながら、本市の教育施策の成果と課題を把握するための一つの指標と考えています。また、学習や生活の実態を踏まえながら、各学校における教育課程や学習指導方法の充実・改善、児童生徒一人一人の学習改善や主体的な学習態度の育成等につなげてまいります。

◎教科に関する調査の結果

1 教科に関する調査の平均正答率

単位：％

| | | 小学校調査 | | | | | | 中学校調査 | | | | | |
|---------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | | 国 語 | | 算 数 | | 理 科 | | 国 語 | | 数 学 | | 理 科 | |
| | | 知識(A) | 活用(B) | 知識(A) | 活用(B) | 知識 | 活用 | 知識(A) | 活用(B) | 知識(A) | 活用(B) | 知識 | 活用 |
| 平成 27 年度 平均正答率 (公立) | 川崎市 | 69.2 | 67.1 | 75.8 | 48.4 | 59.4 | 62.2 | 76.7 | 68.1 | 65.8 | 44.2 | 62.1 | 49.7 |
| | 全国 | 70.0 | 65.4 | 75.2 | 45.0 | 61.3 | 60.5 | 75.8 | 65.8 | 64.4 | 41.6 | 63.8 | 48.8 |

* 知識(A)：主として「知識」に関する問題 活用(B)：主として「活用」に関する問題

2 全体の傾向

本市においては、「上記 1」の 12 項目のいずれの平均正答率も全国に対して±5 ポイントの範囲内にある。これは文部科学省が有意差の認められないとする範囲内であるので、本市の結果は全国とほぼ同程度の結果であるといえる。

◎各教科の概要（◇：よい状況と考えられる点 ◆：課題があると考えられる点）

【小学校 国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域等の平均正答率を全国の結果と比較すると、A問題では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において全国の結果を上回っているが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、下回っている。B問題では、出題された「書くこと」「読むこと」の領域において、全国の結果を上回っている。

話すこと・聞くこと

◆話の内容に対する聞き方を工夫すること

書くこと

◇具体的な事例を挙げて説明する文章を書くこと

◆文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くこと

読むこと

◇目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えること

◆新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと

◆文の中における主語を捉えること

【小学校 算数】

「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、A問題では「数と計算」「図形」の領域において全国の結果を上回っているが、「量と測定」「数量関係」については下回っている。B問題では、全ての領域において上回っている。特に、「数と計算」領域は、全国の結果を4.7ポイント上回っている。

- 数と計算** ◇加法における計算の確かめの方法を理解すること
◆概数を用いた見積りの結果に基づいて、その理由を説明すること
- 量と測定** ◆ 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めること
◆条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めること
- 図形** ◇平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解すること
◆示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述すること
- 数量関係** ◇グラフに表されている事柄を読み取ること
◆示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述すること

【小学校 理科】

「物質」「エネルギー」「生命」「地球」の区分・内容ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、「エネルギー」「生命」「地球」の区分・内容において全国の結果を上回っているが、「物質」については下回っている。記述式の平均正答率は、全国の結果を3.0ポイント上回っている。

- 物質** ◇水蒸気は水が気体になったものであることを理解すること
◆メスシリンダーの名称を理解すること
- エネルギー** ◇振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想すること
◆振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用すること
- 生命** ◆顕微鏡の適切な操作方法を身に付けていること
◆植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述すること
- 地球** ◇打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること
◆方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析すること

【中学校 国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域等の平均正答率を全国の結果と比較すると、A問題では、全ての領域等において上回っている。B問題では、出題された「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、全国の結果を上回っている。

- 話すこと・聞くこと** ◇相手の反応を踏まえて話すこと
◆資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くこと
- 書くこと** ◇書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くこと
◆文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
- 読むこと** ◇登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること
◆複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項** ◇文脈に即して漢字を正しく読むこと
◇毛筆を用いて、楷書で文字を書くこと
◆単語の類別について理解すること

【中学校 数学】

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の領域ごとの平均正答率は、全国の結果と比較すると、A問題、B問題ともに全ての領域において上回っている。特に、B問題の「図形」の領域は、全国の結果を3.7ポイント上回っている。

数と式 ◇連続する3つの整数の和が、中央の数の3倍になるかどうかを確かめる式を書くこと

◆数量の関係を文字式に表すこと

図形 ◇与えられた投影図から空間図形を読み取ること

◆図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明すること

関数 ◇時間と道のりの関係を表すグラフから、与えられた時間における道のりを読み取ること

◆事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること

資料の活用

◆与えられた資料から中央値を求めること

◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

【中学校 理科】

「物理」「化学」「生物」「地学」の学習指導要領の分野等ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、「化学」「生物」においては全国の結果を上回っているが、「物理」「地学」については下回っている。

物理 ◆オームの法則を使って、抵抗の値を求めること

◆日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘すること

化学 ◇塩化ナトリウムを化学式で表すこと

◆二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明すること

生物 ◇実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘すること

◆背骨のある動物を、セキツイ動物と表すこと

地学 ◆天気の記事から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測すること

◆他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること

◎児童生徒質問紙調査の結果（抜粋）

| | | | | |
|--|-----|-------|-----|-------|
| ○朝食を毎日食べている。 | 小学校 | 94.9% | 中学校 | 91.1% |
| ○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 | 小学校 | 77.7% | 中学校 | 67.2% |
| ○自分には、よいところがあると思う。 | 小学校 | 77.4% | 中学校 | 67.6% |
| ○将来の夢や目標を持っている。 | 小学校 | 84.6% | 中学校 | 69.6% |
| ○テレビゲームの時間が2時間以上。（※） | 小学校 | 31.4% | 中学校 | 41.1% |
| ○学校の授業時間以外の勉強時間。（※） | | | | |
| ◎2時間以上 | 小学校 | 34.1% | 中学校 | 40.7% |
| ◎30分以下 | 小学校 | 17.6% | 中学校 | 15.9% |
| ○家の人と学校での出来事について話をしている。 | 小学校 | 79.9% | 中学校 | 72.1% |
| ○家で、自分で計画を立てて勉強している。 | 小学校 | 60.6% | 中学校 | 45.6% |
| ○学校に行くのは楽しいと思う。 | 小学校 | 88.4% | 中学校 | 82.4% |
| ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 | 小学校 | 87.1% | 中学校 | 84.5% |
| ○地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。 | 小学校 | 66.6% | 中学校 | 52.2% |
| ○人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。 | 小学校 | 93.4% | 中学校 | 93.6% |
| ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 | 小学校 | 95.7% | 中学校 | 91.7% |
| ○人の役に立つ人間になりたいと思う。 | 小学校 | 93.7% | 中学校 | 91.8% |
| ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい。 | 小学校 | 49.2% | 中学校 | 59.2% |
| ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 | 小学校 | 69.6% | 中学校 | 64.3% |
| ○国語の授業の内容はよく分かる。 | 小学校 | 83.2% | 中学校 | 74.2% |
| ○算数・数学の授業の内容はよく分かる。 | 小学校 | 78.8% | 中学校 | 70.6% |
| ○理科の授業の内容はよく分かる。 | 小学校 | 88.4% | 中学校 | 65.0% |

- ・数値には「どちらかといえば」を含む
- ・（※）印は「普段（月～金）1日当たりの時間」

◎今後の対応

教育委員会といたしましては、調査結果から明らかになった児童生徒の学習や生活の状況を踏まえ、教育施策の充実を図るとともに、各学校の全国学力・学習状況調査を活用した児童生徒の学力向上に向けた取組について、学校と保護者・地域が一体となって推進していけるよう、支援してまいります。また、各学校において調査結果報告書を作成し、保護者・地域に調査結果及び教育指導の改善等に関する情報を提供いたします。

【担当】

川崎市総合教育センター
カリキュラムセンター
担当課長 須山 844-3730